



第17回女子ハンドボールアジア選手権 戦況連絡票



開催日	2018年 11月 30日 金曜日	試合コード	
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	八代市総合体育館

結果	A	5	スコア	41	B
	ニュージーランド		前半		日本
			2-20		
			後半		
			3-21		
			第一延長前半		
			—		
			第一延長後半		
			—		
			第二延長前半		
			—		
			第二延長後半		
7mc					
—					
—					

戦況	見出し	日本、硬さ残るも大勝。
	前半	<p>ニュージーランドのスローオフでゲーム開始。日本は守って速攻の形から得点を重ね、立ち上がり5-0とリードする。さらにサイドから飛び込み、相手ディフェンスから2回目の退場を誘い、数的優位な状況からさらに得点を重ねていく。特に両サイドからのシュートが冴え、相手に付け入るスキを与えない。9-0になったところでニュージーランドがたまたま、チームタイムアウトを選択した。その後ポストで2点を取り、勢いに乗るかと思われたが、その後速攻により点差を広げられる展開になった。日本も一気にいきいたいところであったが、決定的なところでミスが続き、勢いに乗れない感があった。盛んに選手交代をし、スピード感あふれる速攻を中心にサイド、ブラインドと多彩な攻撃を見せた日本が20-2と大量リードで前半を折り返した。</p>
後半	<p>後半に入っても攻撃の手を緩めない日本は、No.20、No.13のサイド、No.24の7mTと得点を重ねていく。一方ニュージーランドも間を割るプレーから7mTをもらい、No.15が確実に決めて食い下がる。GKも踏ん張り、日本のノーマークシュートをたびたび止める場面が見られた。しかし、地力に勝る日本は相手のミスを見逃さず、素早く速攻を仕掛け点差を広げていく。2枚目のディフェンスを引き付けて、サイド勝負の展開が面白いように決まり、ニュージーランドのディフェンスはなすすべがない状態であった。サイドのNo.18が9得点をたたき出し、安定したシュート力を披露した。日本は走力の違いを見せつけ、出場選手全員が得点するなど力の差を見せつけた。しかし、ところどころで、動きに硬さも見られた。41-5で日本が大勝したが、課題も残る内容であった。</p>	

戦況報告書作成者	光永 和之
----------	-------

Host country fought against New Zealand in their first match. As soon as the game started, Japan took a lead by left wing Tanabe's goal (1:0). After the first score, they got eight goals more (9:0) until 13 minutes. New Zealand tried to fight back, but they took many mistakes. Japan got 20 goals in first period (20:2).

Even in the second half, Japan kept taking advantage. They scored 12 more at 15 minutes. New Zealand could not get the chance of recovery. The final score was 41:5. Japan gained a victory in front of their supporters.